



“現代の病像” を超えていくために

Guest Speaker : 佐藤 正博 氏

9月16日(日) 午後 2:00~4:00

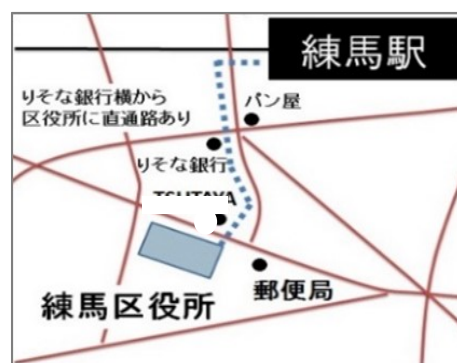
練馬区役所 20F 交流会場

西武池袋線(地下鉄有楽町線/副都心線 直通)・都営大江戸線

練馬駅 西口 徒歩5分 (りそな銀行横の階段から直通)

参加費:1,000円 資料代・お茶菓子代含む。

(二人様以上800円・大学生500円・高校生以下無料)



【講演内容】

人間は誕生直後には快・不快の内臓感覚は持ち合わせているのですが、認識としての自分と外界の区別がありません。その後、授乳期・幼児期、更に思春期を経て成人に至る過程を歩みます。このときの心と精神のありかたは、成長の過程で形成されていきます。現在の我々の無意識や精神を決定づけているのはこの過程と考えるほかありません。そのように考えると、様々な家庭内暴力、通り魔的犯罪など、自分で抑えきれない情動(個別的病像、ある意味では個性)とこの過程がどこかで関連しているといえます。また、耳目を集めた、日大アメフト問題や電通パワハラ問題などは個別的病像と別の要因によるもののように見えます。監督やコーチ、職場の上司などに現れるこのような問題は個人というレベルを超えた多くの人が患っている社会システムの病像のように思われます。このような2つの病像を体系的に理解できれば、これらの病像を超えていく手がかりが見えてくるように思います。

今回はアダム・スミス、ヘーゲルやマルクス、土井健郎、三木成夫や吉本隆明、各種経済データなどを参考に理解を深めていきたいと思えます。

【佐藤 正博 プロフィール】

1950年 東京都の下町で生まれる。小学校時代は山形県酒田市、中学・高校時代は埼玉県川越市で育つ

1973年 東京理科大学卒業。

1989年~1992年 国連環境計画モントリオールプロトコル Economic Panel メンバー

1999年 筑波大学 経営・政策科学研究科修了。

2004年 東京大学総合文化研究科修了。学術博士。

現在 産業能率大学および群馬県立女子大学非常勤講師

*地球環境に関する論文を多数出版

<ぶんかサイエンスカフェ事務局>

【お申し込み/お問い合わせ】 メールまたはホームページよりどうぞ! 当日の直接御来場でもOK!

メール: office@cscafe.net ホームページ: http://cscafe.net

ぶんかサイエンスカフェ



電話: 090-1771-0901 事務局代表 伊藤 規志子 *不在の時は留守電メッセージをお願いします。